

天然芝のグラウンド・ゴルフ場がオープン

休校中の穴吹町の口山中学校運動場を整備した“美馬市グラウンド・ゴルフ場”が、11月9日にオープン、記念大会が開かれました。天然芝が敷き詰められた同ゴルフ場は、県内で2か所目、全国で208か所目の日本グラウンド・ゴルフ協会公認コース。

大会には、美馬市グラウンド・ゴルフ協会（山本俊夫会長）の会員ら183人が参加。牧田市長や辻議長らが打ち初めをした後、6人1組で試合を行いました。参加者は起



▲天然芝、16ホールを備えた美馬市グラウンド・ゴルフ場



▲記念大会でプレーを楽しむ参加者

伏に富んだホールを慎重に攻略。次々とボールをホールポストへ入れていきました。ブロック別の上位入賞者は下表のとおり。

同ゴルフ場は、旧穴吹町が昨年11月から約半年かけて整備。面積は3,723㎡で、8ホールを備えた清流と幸緑の2コースがあります。山本会長は「地域の活性化のためにも、多くの愛好者にこのゴルフ場を利用いただきたい」と話しています。

順位	個人戦Aブロック		個人戦Bブロック	
	氏名()は所属	打数	氏名()は所属	打数
優勝	長楽千代子(木屋平)	37	経塚和義(木屋平)	43
準優勝	中村正一(穴吹)	40	猪本竹市(神明)	44
3位	藤井義雄(岩倉)	42	佐竹伸一(脇町)	45

山根幸大さんが世界の頂点へ

アームレスリングの第26回世界選手権大会（10月27日～11月1日、宇都宮市コンセーレ大ホール）ジュニアの部で、貞光工業高校3年の山根幸大さん（大工町）が78kg超級・レフトハンドで優勝。世界の頂点に立ちました。

美馬市体協のアームレスリング部『釈迦力』に所属する山根さんは、ブラジル代表の選手らと対戦し、怪腕ぶりを披露。同級・ライトハンドでも3位に入る活躍を見せました。

ジュニアの部で大きな実績を残し、来年からは一般の部へと進む山根さん。「これからも練習に励み、レベルの高い一般の部で、1本でも多く勝てるよう頑張りたい」と力強く話してくれました。



▲アームレスリング世界選手権ジュニアの部で優勝し、表彰台に立つ山根さんⓂ